

# ファミリー葬新聞

第9号

平成26年1月発行

## 「ファミリー葬」だからできること

年が改まって、寒さもいよいよ本格的になってまいりました。  
昨年よりファミリー葬では、お葬式以外のことで  
皆様をサポートしていきけることはないかと考える様になりました。  
そして介護関連・相続・お墓などの各専門家との連携を深め、  
皆様の不安を少しでも解消していきたいという想いで、  
「終活」イベントを開催し、おかげさまで大好評を頂きました。  
今年もこの「終活」を中心に、皆様のお困りごとの良き窓口となれるよう  
活動をすすめていき、より内容の充実したものにしていきます。  
そして、お葬式に関しては「お客様に喜ばれることを真剣に考える」  
「くつろげる空間（式場）づくり」をテーマに  
スタッフ一丸となって邁進してまいります。

「終活」=人生の終焉<sup>しゆうえん</sup>を考えることを通じて、自分を見つめ、今をより良く自分らしく生きるための活動。



取締役部長 河野好秀

### 各店舗のご案内

ファミリー葬 堺北 JR阪和線「百舌鳥」駅より徒歩約1分

☎ 0120-834-456

〒591-8036 堺市北区百舌鳥本町1丁6-1  
TEL.072-256-6464 FAX.072-256-6466



ファミリー葬 平野 地下鉄谷町線「平野」駅より徒歩約1分

☎ 0120-834-789

〒547-0032 大阪市平野区流町1丁目4-27  
TEL.06-6760-5577 FAX.06-6760-5377



ファミリー葬 鈴蘭台 神戸電鉄粟生線「西鈴蘭台」駅より徒歩約15分

☎ 0120-834-016

〒651-1131 神戸市北区北五葉6丁目14-30  
TEL.078-594-8111 FAX.078-591-5122



家族葬専門店  
ファミリー  
**Family So**  
(株)ファミリー葬

H P / <http://www.family-so.com>

ファミリー葬  検索

年中無休  
24時間受付

# さかい終活フェア 主催/株式会社ファミリー葬

平成25年12月9日(月)、堺市南区のビッグ・アイ(国際障害者交流センター)にて  
116名の方にご参加頂きました。

介護・保険・相続・お葬式・お墓など将来への不安を  
少しでも解決して頂きたいという思いで開催しました。

“明るい終活”をテーマに、学んだり、体験したりととても充実した終活フェアとなりました。



大盛況のうちに  
終了しました!



## 無料相談窓口を設置

各専門家が集結し  
皆様のお悩みにお答えしました

「将来のために介護の知識を深めたい。」「財産はないけど相続に必要なの?」「永代供養について詳しく知りたい。」など…人が抱える疑問や不安はさまざまです。そこで各専門家が集結し、皆様のお悩みを解決しました。

ご自身のためご家族のためにも、ある程度の準備をしておきたいと思われる方が年々増えています。気になる窓口で細かく質問される方やあまりご縁のない専門家と立ち話される方、皆様思うがままにご相談窓口を回っておられました。

介護

医療

保険

相続

葬儀

納骨



## 体験コーナー

プロのカメラマンによる写真撮影会や  
貴重な入棺体験

【メモリアル写真館】  
今の元氣な自分を写真に残す

皆様、最初は緊張ごみでしたが、カメラマンの声かけに表情が緩み、自然な笑顔があふれていました。

スタジオに行く機会はないので記念に一枚撮れ、いい思い出になりました。(70代・男性)



【入棺体験】  
長生きのゲンを担いで

「棺桶に入る=死」を連想するわけですから自分の人生を振り返り、見つめ直すきっかけを与えてくれるそうです。

ちょっと窮屈だった。(30代・女性)  
急に気持ちずしんみりしてきました。(60代・女性)



## 特別終活講演

- ・ 創作落語「天国からの手紙」
  - ・ エンディングノートの書き方講座
- 講師：行政書士・社会人落語家／生島 清身さん



遺言知識を深める落語「天国からの手紙」とエンディングノートの書き方講座を聞いてくださり、参加頂いた方に「わかりやすかった」と声をかけて頂きました。

### 落語を通して「相続・遺言」を 明るく楽しく解説頂きました！

遺産が不動産のみで相続人が複数いると必ずと言っていいほど相続争いがあると専門家の方はおっしゃいます。

「うちは財産がないから相続するものはない。」「子供たちは仲が良いから大丈夫。」と思っている人ほど落とし穴があるそうです。争いを未然に防ぐためには“想いを残すこと”が大切だということと、自分の思い通りにしてほしい時の遺言書の書き方などを学びました。



### 人生を悔いなく生きるために—— エンディングノートの役割

「エンディングノート」とは人生の最終章を迎えるにあたり、介護や医療、もしものときの葬儀はこんなふうにしてほしいといった自分の考え、大切な家族に向けたメッセージなどを書き記しておくためのノートです。最近では、働き盛りの方も、自分のこと・自分を取り巻く環境などを見つめ直すツールとして利用するケースも増えているそうです。

エンディングノートに決まった形はありません。難しいルールもありません。自由に作成してよいのです。気持ちが変われば何度書き直してもOK！法的効力がないため遺言書の代わりにはなりません。 “想い”は残せます。

これからの人生を悔いなく過ごすための設計図づくり、「エンディングノート」にはそんな役割があるとお話頂きました。

## シニアライフサポート「青空会」

終活を通じてご高齢者の皆様にしっかり寄り添い、共感し、そして一緒に自分らしいシニアライフを考えサポートするために、「青空会」をつくりました。

#### 昨年の活動

- ・ 認知症を正しく学び予防する
- ・ 相続について学ぶ
- ・ エンディングノートの書き方を学ぶ

#### 今後の活動予定

- ・ 散骨、樹木葬、永代供養に関すること
- ・ 後見人制度に関すること
- ・ おもしろ住職の法話

これからも「青空会」はシニアライフに関する活動を行ってまいりますので、ご興味のある方はお電話にてご登録ください。（登録無料）ご登録頂いた方には今後、お役立ち情報やイベントのご案内を致します。

## ご遺族の方が悲しみを乗り越えるために

堺市北区  
船越様  
82歳

「一日一読、十笑、百吸、千字、万歩」  
一日一回は本を読む、十回笑う、百回深呼吸する、  
千字書く、万歩あるくことを心がけています。



3年前に妻を亡くし、葬儀をファミリー葬工場で世話になりました。今でも妻との思い出を振り返ると寂しい気持ちになりますが、子供たちやいろいろな方々に支えられ、今日を過ごしています。家事をしているとあっという間に一日が過ぎ、妻がいなくなった始りの頃は「こんな大変なこと毎日やってたのか」と仏壇の前で語りかけていました。4ヶ月前に自分自身が病気で倒れましたが、早期発見だったので回復することができました。やっと妻が見守ってくれたんじゃないかなと思います。

その時医者に言われたことが、出来るだけしゃべる（口を動かす）ことと体を動かすことでした。カラオケは歌詞を覚えようとするのでボケ防止になると勧められ、今では新しい曲を覚えることがとても楽しみです。そして、大好きな旅行にはいつも妻の写真を持っていき、一緒にいろいろな景色を見て楽しんでます。これから残りの人生を有意義に過ごすためにいろいろなことにチャレンジしていきたいです。



いつもお元気な姿を見て、逆に勇気づけられています。これからもお体に気をつけて、カラオケや旅行を楽しんでください！（写真右/手塚）

## ご遺族様を支えるグリーフケアを行えるように…

グリーフケアとは…

「グリーフ」とは、愛しい人を亡くされた方の大きな悲しみ（悲嘆）のことを言います。悲嘆から立ち直り、乗り越えなければならないプロセスを「グリーフワーク」と言います。そしてそれを支援するのが「グリーフケア」です。

「日本グリーフケア協会」が東京で開催した講座を受講しました。そして、「グリーフケア・アドバイザー講座2級」の終了認定証を頂きました。今回の講座で悲嘆には様々な反応や経緯があることを知りました。勉強した知識を踏まえ、少しでもご遺族様のサポートができるように頑張ります。



ファミリー葬・堀江 宗生